

⑮ 図書室



読書や調べ学習で多くの子ども達が利用していた図書室です。地震で大きく動いてしまったとみられる本棚が見られます。金房小の本校舎の時計は多くの部屋で飾りつけがしてあって楽しい雰囲気があります。この部屋の黒板だけが次の登校日であったはずの3月14日になっています。きっとお掃除の時間などに班長さんなどがきちんと次の登校日の日付を書く習慣ができていたと思われる。この部屋の本たちも、子ども達が帰ってくることを待っているようでした。

⑯ 卒業記念制作



⑰ 残されたランドセル

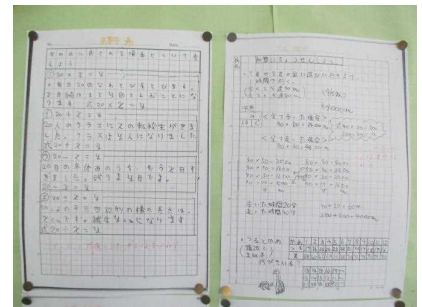


⑱ 雑巾かけ



6年生教室には、卒業記念制作のオルゴールや、震災当日のあわただしさを物語るランドセルなども残されています。雑巾かけなども日常の風景には違いはないのですが、なぜか悲しい感じがします。

⑲ 算数コーナー



学習の足跡を、ノートのコピーを通して残していました。丁寧な文字です。

⑩残された子ども達の作品



野馬追の絵やかわいいペンギンの粘土細工、「ゆず」という書写の作品、紙工作や版画など、ここに紹介しきれないほどの素晴らしい作品が、各教室にはまだまだ残されています。遠くの避難先から取りに来れない方、放射線への不安から来校できない方など理由は様々です。このようなところからも原発事故の長引く被害というものを感じることができます。

⑪給食関係



給食は校舎の北側にあった給食調理室で作られていました。2階にはエレベーターを使って運んでいました。仮設校舎では人数の関係と建物の関係で、自分たちの力で1階から2階へと運んでいます。当時の献立表を見ると、今と変わらず美味しそうなものがたくさん見られます。

⑫給食関係



⑬給食だより



⑭レンタル傘



⑮学校前の銀杏の木

